

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第36回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第36回：2012年12月25日(火) 13:30～17:30
2. 場所 原安進 第3,4会議室
3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 小倉副主査, 村田幹事, 岩谷委員, 大塚委員, 栗坂委員代理(岡野委員代理), 桐本委員, 黒岩委員, 小谷委員, 小森委員, 佐藤委員, 高橋委員, 久持委員, 廣川委員, 前原委員, 牟田委員, 山中委員, 村松委員 (18名出席)

(常時参加者) 根岸, 鈴木, 友澤 (3名)

(敬称略)

4. 配布資料

配付資料

- P4SC-36-1 第35回レベル1PRA分科会議事録(案)
- P4SC-36-2 レベル1PRA分科会のコメント対応
- P4SC-36-3 リスク専門部会のコメント対応
- P4SC-36-4 実施基準改定案への反映項目とその対応
- P4SC-36-5 実施基準改定案
- P4SC-36-6 レベル1PSA標準とASME/ANS標準との比較について(P4SC-31-4改訂版)

参考資料

- 参考-1 第35回レベル1PRA分科会議事メモ(案)
- 参考-2 当面のスケジュール案
- 参考-3 レベル1PRA分科会 委員リスト
- 参考-4 リスク専門部会中間報告資料
- 参考-5 実施基準改定案6.2.1節の改定案について
- 参考-6 実施基準改定案6.4節の改定案について

5. 議事内容

委員18名(代理出席1名含む)であり, 定足数(13名)以上であることを確認した。

- (1) 第35回の議事確認

資料P4SC-36-1により前回議事を確認し, 了解された。

- (2) 実施基準改定案修正について

村田幹事より, 資料P4SC-36-4によりリスク専門部会のコメントと対応案について説明があり, 内容について確認した。なお, コメントの一部は各基準案の改定案の確認におい

て審議した。以下に各実施基準改定案の議論について示す。資料は、いずれの章も P4SC-36-2 および P4SC-36-4, 5 を用いた。

主な議事は以下のとおり。

a. 1章～3章

大塚委員より 1 章から 3 章のコメント対応方針および改定案について説明があり、審議した。「発生頻度」という用語は正確な表現ではないとの議論があったが、これまでの活用状況から「発生頻度」を用いる方針となった。また、実施基準の適用範囲外の事象を記載するかどうかについては、解説に記載することとなった。

b. 4章

岩谷委員より 4 章のコメント対応方針および改定案について説明があり、審議した。実施項目を箇条書きとするか、図とするか、実施項目を図示したものが本文としてふさわしいか議論した結果、箇条書き無しとして図により手順を示してみ確認することとなった。

c. 5章

前原委員より 5 章のコメント対応方針および改定案について説明があり、審議した。人間信頼性解析の項目に関して、調査する情報として「安全系のシステムの使用条件」があるが、わかりにくいため内容を確認することとなった。

d. 6章

小谷委員より 6 章のコメント対応方針および改定案について説明があり、審議した。海外の事象をどこまで分析するか議論になったが、公開性の問題もあるため、データが入手できる範囲で確認することを解説に記載することとした。

(3) リスク専門部会中間報告結果について

村田幹事より、リスク専門部会には、参考-4 を用いて説明したことが報告された。コメントについては、P4SC-36-3 にて整理されている。

(4) 今後のスケジュールについて

今後 7 章以降も一通り分科会で確認することとなった。

次回は、1/29 10:00～、終日の予定とする。7 章以降は反映案を含めて審議する。6 章までは、今回のコメントを反映することとする。

以上